

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ
テクニカル・ワークショップ

Software for documentary linguistics

言語ドキュメンテーションのためのコンピューターソフトウェア

開催のお知らせ・募集要項

研究未開発言語のドキュメンテーション・記述に使うソフトウェア、ELAN (Max Planck's EUDICO Linguistic Annotator) と FLEx (SIL's Fieldworks Explorer) の使い方をトレーニングするワークショップです。この二つのソフトウェアはフィールドワークで得られたデータへのアノテーション付与と分析にとっても役立ちます。

インドネシア・北スラウェシでの豊富なフィールドワーク経験を持つ Timothy Brickell 博士が講師を務めます。

記

1. 開催日時：

- | | | | |
|-----|----------------|-------------|----------------|
| 第1回 | 2018年12月12日(水) | 14:00-16:00 | ELANの使い方 |
| 第2回 | 2019年1月9日(水) | 14:00-16:00 | FLExの使い方 |
| 第3回 | 2019年2月15日(金) | 14:00-16:00 | ELANとFLEx両方の利用 |

2. 主な内容：

1回または2回だけの参加も可です。ただし3回目のワークショップに参加するためにはELANとFLExの基礎知識が必要です。

第1回 12月12日(水) ELANの使い方

- ELANの概略
- ティアーの記述、階層、テンプレートの作り方
- 新しいアノテーションファイル(.eaf)の作り方
- オーディオとビデオの同期
- 録音のセグメンテーション
- 録音の書き起こしと翻訳
- ティアーの追加方法(例：グロスをつけるためのティアー)
- 基本的な検索機能の使い方

第2回 1月9日(水) FLExの使い方

- FLExの概略
- FLExプロジェクトのセットアップ
- lexical entriesの追加、削除、編集
- 複数の意味と意味カテゴリーの追加
- テキストデータの入れ方、グロスの付け方、形態素解析の方法
- 基本的な検索機能の使い方

第3回 2月15日（金）ELAN と FLEx 両方の利用

- ELAN と FLEx 間でのデータのやり取りの方法についての概略
- 上記の目的のための ELAN テンプレートの作り方
- ELAN プロジェクトファイルへのアノテーション付与とエクスポートの方法
- ELAN プロジェクトを FLEx にインポートする方法
- FLEx のグロスのついたテキストデータとプロジェクトをエクスポートする方法
- グロスのついたデータを ELAN に再度インポートする方法
- 起こりうる問題とトラブルシューティング

実習形式で行うため、参加者はご自身のパソコンをお持ちください。ご自身のデータを実習で使われない方は、パソコン上で再生できる形式の音声データ・ビデオデータをお持ちください。（こちらでも実習用データの用意があります。）第2回・第3回の実習には OS として Windows が必要です。

3. 開催場所：

第1回・第2回：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）3階 304 室
第3回：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）3階 306 室

4. 講師：Timothy Brickell 博士（AA 研フェロー、メルボルン大学博士研究員（言語学））

5. 参加資格：

言語学のフィールドワークをおこなっている、またはこれからおこなう予定の研究者・学生（原則として大学院生以上）

6. 募集人数: 15 名

7. 参加申込方法：参加申込方法：下記 URL にアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますのでご確認ください。なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。



<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/181212-flws-tech/>

8. 申込締切：

第1回 2018年12月10日（月）
第2回 2019年1月7日（月）
第3回 2019年2月13日（水）

9. 問い合わせ先：

「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局
lingdy-apply[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）

10. その他：

- ・ 講義は英語で行います。通訳はありません。
- ・ 参加は無料です。
- ・ 過去のテクニカル・ワークショップにつきましては、
<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/data-pro-ws> をご覧ください。

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上